

平成 2 7 年

教育福祉常任委員会  
会 議 録

期日：平成 2 7 年 2 月 2 4 日（火）

場所：大曲庁舎 3 階 議会応接室

大 仙 市 議 会

# 大仙市議会教育福祉常任委員会会議録

---

日 時

平成27年2月24日（火曜日） 午前11時50分～午前11時58分

---

会 場

大仙市役所3階 議会応接室

---

出席議員（7人）

3番 細谷洋造	5番 後藤健	7番 石塚 柏
10番 小山緑郎	12番 佐藤芳雄	21番 児玉裕一
24番 大山利吉		

---

欠席議員（0人）

---

説明のため出席した者

教 育 長 三浦憲一	生涯学習部長 滝沢清寿
生涯学習部次長兼生涯学習課長 山谷喜元	スポーツ振興課長 伊藤優俊

---

議会事務局職員出席者

副 主 幹 田口美和子
-------------

---

第 1 平成26年度大仙市一般会計補正予算（第11号）

---

午前11時50分 開 会

○委員長（小山緑郎） 本日は大変ご多用のところ、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。ただいまから、教育福祉常任委員会を開会いたします。当委員会に付託された事件につきましては、別紙日程表のとおり審査いたしますので、よろしく願いいたします。なお、正確な会議録作成のため、発言はマイクにスイッチを入れてからお願いしたいと存じます。

それでは、審査に入ります。議案第6号「平成26年度大仙市一般会計補正予算（第11号）」を議題といたします。当局の説明を求めます。伊藤スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（伊藤優俊） それでは、議案第6号「平成26年度大仙市一般会計補正予算（第11号）」について、ご説明申し上げます。資料No.2-1事業説明書の1頁をご覧ください。これは、大曲工業高校硬式野球部が、今年の秋季秋田県大会を制し、東北大会でも準優勝したことが認められ、来る3月21日から開催されます第87回選抜高等学校野球大会「春の甲子園」初出場が実現したことにより、市民の期待に応える活躍と健闘を願うとともに、市民の競技スポーツへの振興と関心が図られるよう、保健体育総務費に補助金10,000千円の補正をお願いし、選手派遣及び生徒応援団派遣などにかかる経費を支援するものであります。大曲工業高校は、平成18年の春季大会で全県初優勝を飾り、その後も毎年のように全県の準決勝・決勝戦に駒を進め、低迷していた県南勢が県下で上位に食い込む牽引役として活躍を続け、これが実を結び、昨夏の角館高校に続く2大会連続で県南からの甲子園出場という快挙につながっております。補助対象経費につきましては、第87回選抜大会にかかる費用として、事業の概要「補助対象経費」記載の4項目としております。また、別紙で「秋田県立大曲工業高等学校野球部甲子園出場補助金交付要綱（案）」をお配りしておりますので、併せてご覧いただければと思います。補助金額につきましては、昨夏の甲子園に出場しました角館高校の実績をもとに、選手派遣費・用具費・応援団派遣費・応援経費を積算しますと、約40,000千円が補助対象額となります。資料には記載しておりませんが、角館高校の場合、補助対象とした経費の実績額が約46,000千円となっております。応援団派遣費につきましては、大曲工業高校は角館高校に比べますと生徒数が少ないうえ、春は1～2年生に希望する3年生を加えた全校応援になるため、経費が若干少なめとなっております。補助金額の10,000千円は、対象経費の1/4相当の補助率となることから、適正な金額と捉えております。これを機に、甲子園を目標としている市内のスポーツ少年団員や、中学生野球部員の意識向上が図られることを期待しております。補正額10,000千円の財源は、全て一般財源となっております。また、2頁には今大会の概要を記載しております。出場する32校は、いずれも甲子園の常連的な高校が名前を連ねており、どこをとっても強豪校となりますが、まずは初戦を突破していただき、大曲工業高校のご健闘を祈りたいと思っております。

以上、ご説明申し上げましたが、ご審議の上、ご承認賜りますようよろしくお願いい

たします。

○委員長（小山緑郎） 説明が終了しました。これより質疑を行います。質疑のある方は、  
お願いします。大山委員。

○委員（大山利吉） 大変、大賛成でございますけども、念のために。3回戦、4回戦、  
準決勝あたりまでいって、経費が少なくなった、なくなっちゃった、そういう場合の市  
の取り組みは何かお考えあるんでしょうか。

○委員長（小山緑郎） 伊藤課長。

○スポーツ振興課長（伊藤優俊） これも角館高校さんの実績等参考にしますと、今、大  
曲工業高校の方72,000千円、寄附金を含めて72,000千円、寄付金が60,  
000千円、市の補助金が10,000千円、それと高野連から2,000千円と72,  
000千円の収入を見込んでおります。これはおそらく1回勝って2回目の試合を行う  
ところまでは耐えられる金額かなというふうに考えておりますが、若干、全体的な予算  
の中で、予備費を多めに見てますので、勝ち進んで行った場合は予備費を取り崩してい  
ってという形で対応は可能かと思われま。ただ、市の方の対応としては今回の10,  
000千円ということで、それ以降はちょっと考えてません。

○委員（大山利吉） 分かりました。

○委員長（小山緑郎） 他にございませんか。

（ 「なし」と呼ぶ者あり ）

○委員長（小山緑郎） なければ質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論はありませんか。

（ 「なし」と呼ぶ者あり ）

○委員長（小山緑郎） 討論なしと認めます。これより採決いたします。本件は、原案の  
とおり可決することにご異議ございませんか。

（ 「なし」と呼ぶ者あり ）

○委員長（小山緑郎） ご異議なしと認め、本件は原案のとおり可決すべきものと決しま  
した。

以上で、当委員会に審査付託となりました議案の審査は、終了いたしました。なお、  
本委員会の「審査報告書」並びに「委員長報告」の案文につきましては、委員長にご一  
任願いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（ 「なし」と呼ぶ者あり ）

○委員長（小山緑郎） ご異議なしと認め、そのように決しました。

○委員長（小山緑郎） これをもちまして、本日の教育福祉常任委員会を閉会いたします。  
大変ご苦勞様でした。

（ 閉 会 午前 1 1 時 5 8 分 ）

委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

教育福祉常任委員会委員長 小 山 緑 郎